

学校教育目標

自ら考え 自らの力で 未来を切り拓く宮野浦の子ども ～自律・協働・創造～

本校ホームページ <http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/>



宮小だより



令和5年9月20日号
発行: 酒田市立宮野浦小学校

学びの樹

酒田市の小中一貫教育

(1) 教育目標の実現

学び合い ともに生きる
公益のまち酒田の人づくり

(2) つけたい力: 酒田市「まなびの樹」(右図)

「根の力」を重点に設定



酒田市では、子どもたちに身につけさせたい力を「学びの樹(き)」として示しています。その中でも「根の力」を重点とし、子どもたちに挑戦させる、考えさせる、経験させることを積み重ね、教職員がそれを支援していくことが「根の力」の充実になり、学びに向かう力が育つと捉えています。「根の力」が育てば幹や葉が生長する、子どもたち自らが学びに向かいます。自ら学習に取り組み、テストの点数のような見える学力も良くなるはずです。そこで、宮野浦小学校でも「根の力」が育つ環境を整え、学校生活を子どもたちと一緒につくっています。

「根の力」については、4年生から6年生に毎年調査も行っています。4段階自己評価で21項目の質問があります。以下6つの指標についての実態です。

【質問内容 本校平均値 4年・5年・6年 酒田市小学校全体平均値】

【自分で思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。	3.0	3.2	3.2	3.2】
【課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか。	3.3	3.4	3.4	3.4】
【自分にはよいところがあると思いますか。	3.5	3.7	3.4	3.5】
【自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	3.3	3.4	3.4	3.3】
【地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。	2.9	3.1	3.3	3.2】
【難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	3.1	3.4	3.4	3.3】

以上のことから、学校では結果を求めるのではなく、取り組む(挑戦)過程を大事にし、保護者のみなさん、学校職員、友だちからも評価される機会をつくっていきたいと思います。また、教室が安心できる場所であり、友だちの失敗を受け入れ、補うことができる人間関係が育つようにしていきます。失敗させない授業から失敗させて考えさせる授業へ教員がチャレンジすることも必要になります。失敗したときには、『どうしたの』『あなたはどうしたいの』『こんな方法があるけど、あなたはどうする』というような声かけを大人ができるようであれば、子どもたちを勇気づけできると信じています。

校長